多久の歴史

後多久家 初代多久邑主 多久安順（龍造寺家久）

～後 編～ 1566年～1641年

前回に続き今回も、明治維新まで続いた後多久家初代多久邑主「多久安順」について紹介していきます。

慶長3年8月（1598）、関白豊臣秀吉が病死したことにより、11月下旬朝鮮在陣の諸将は各々帰船を始め、鍋島直茂らと共に龍造寺家久も帰国しました。しかし、ほっとしたのも束の間、慶長5年（1600）には、天下分け目の戦い **★①関ヶ原の合戦** が勃発!

関ケ原での陣の配置▲

★① 関ヶ原の合戦 豊臣秀吉の死後に発生した政争に端を発したもので、徳川家康を総大将とし福島正則・黒田長政らを中心に構成された東軍と、毛利輝元を総大将とし宇喜多秀家・石田三成らを中心に結成された反徳川の西軍の両陣営が、関ヶ原（岐阜県）を主戦場として行われた野戦。関ヶ原における決戦を中心に日本全国各地で戦闘が行われた結果、豊臣政権は統一政権の地位を失い、勝者である徳川家康は強大な権力を手に入れ、幕藩体制確立への道筋が開かれた。

関ヶ原の戦いでは、主家に従い西軍に属し出陣したが西軍は破れ、主家は人を使わし家康に謝罪し赦（ゆる）された。慶長13年、幕府が駿河城を築く折、主家は家久を監督として当たらせました。

同年、佐賀藩を治めた鍋島家に対して龍造寺姓を遠慮し、治領の多久を姓として名乗り、家久を「安順」と改め、「多久長門守安順」としました。

元和元年（1615）、**★②大阪夏の陣** に参戦する為に伊万里津より出航しましたが、大阪城はすでに徳川幕府側の攻撃により落城していました。

多久安順の肖像【多久市郷土資料館蔵】▲

★② 大阪夏の陣 大坂の陣は、江戸幕府（徳川家康）と豊臣家との間で行われた合戦。大阪の陣とも表記する。大坂の役とも呼ばれ、大坂冬の陣（1614）と、大坂夏の陣（1615）から成る。

寛永12年（1635）、前佐賀藩主の曾孫（そうそん）龍造寺伯庵が、佐賀藩領は龍造寺氏のものであると主張し、公儀へ提訴したことに関して参府。安順は龍造寺氏から鍋島氏への政権移譲の正当性を説き、それを認めさせ伯庵の訴えを退けました。

寛永13年、多久邑主を養嗣子の多久茂辰に譲ったが、翌年、**★③島原の乱** が勃発、**★④鍋島甲斐守直澄** の後見役として、兵350人を率いて出陣しています。

★③ 島原の乱 江戸幕府のキリシタン弾圧に対する反乱。日本の歴史上最大規模の一揆であり、幕末以前では最後の本格的な内戦である。島原・天草の乱、島原・天草一揆とも呼ばれる。寛永14年（1637）勃発、寛永15（1638）終結。

★④ 鍋島甲斐守直澄（1616～1669）前佐賀藩主・鍋島勝茂の五男、鍋島宗家の家督相続の候補者に推されたが、継ぐことはできず、寛永19年（1642年）、肥前国蓮池藩に5万2000石を与えられ初代藩主となった。

寛永18年（1641）没する。79歳、殉死者11名。慶閤寺（けいごうじ）に葬られました。

慶閤寺多久安順と一族の墓（佐賀市本荘町）▲

UD FONT 見やすくて読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
VEGETABLE OIL INK 環境に優しい植物油インキを使用しています。

議会広報委員会
委員長 樺島永二郎
副委員長 鷲崎義彦
委員 田渕厚
委員 平間智治
委員 香月正則
委員 小川三郎

発行／多久市議会　多久市北多久町大字小侍7番地1
TEL.0952-75-4828　FAX.0952-75-2110　E-mail:gikai@city.taku.lg.jp
編集／議会広報委員会　印刷／山口印刷株式会社

インターネット動画配信中！
多久市議会　検索